



## 照国寺の山門

照国寺の山門は、天正十七年（一五八九年）伊達の大軍が伊南の地に入り、久川城の河原田盛次との攻防で焼失してしまった。その後寺の復興とともに建てられたと伝えられる。

山門の梁には

玉簪妙龍 当山廿世鐘阿実普岳泉耀山代  
干時延享二乙丑天十月二十五日

南無阿弥陀佛

南無阿弥陀佛

金具

○大経曰 天下和順日月  
清明風雨以時  
災風不起国富  
民安兵戈無用

矣

龍誉高天

大工棟梁

白沢 湯田亦四良  
古町 大山治良右門  
只石 五十嵐七良右門  
大橋 酒井 源吉

と明記されている。

※延享二一七四五年

所在地 伊南村大字古町字小沼二〇二

五番地

管理者 金光山照国寺